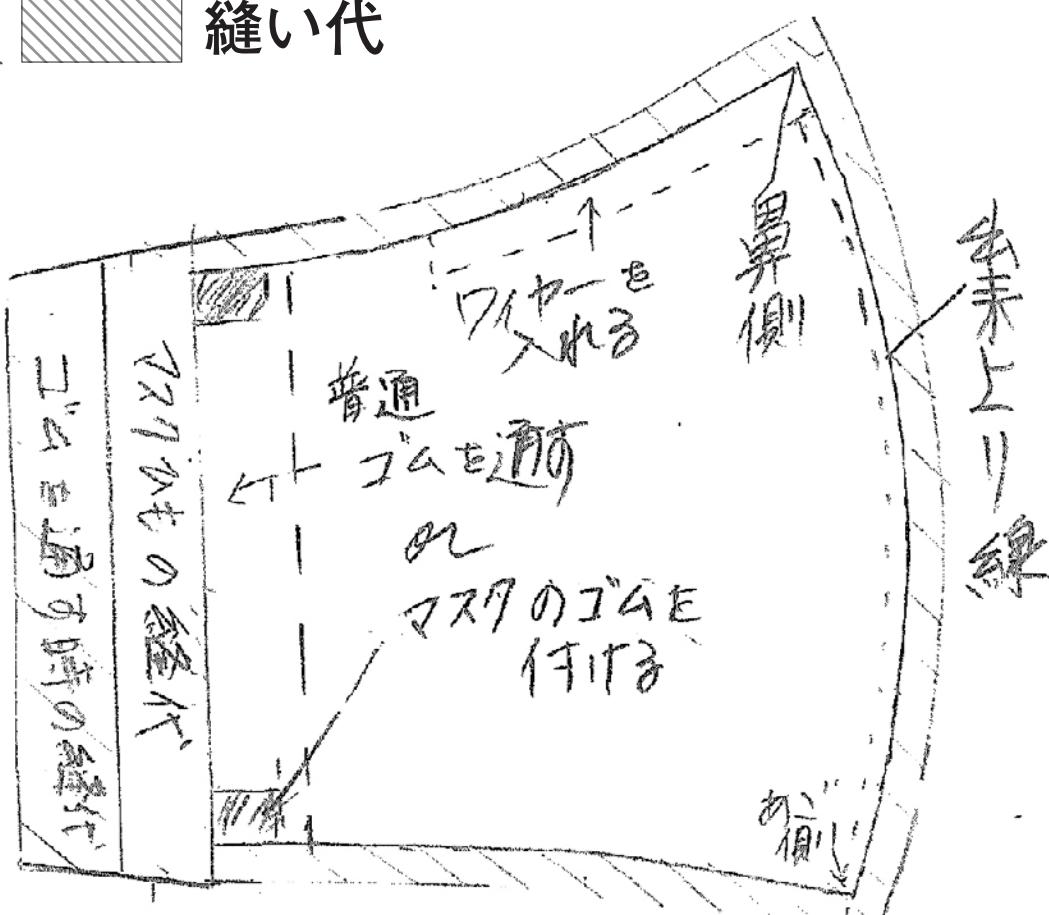




縫い代

手作りマスクの型紙



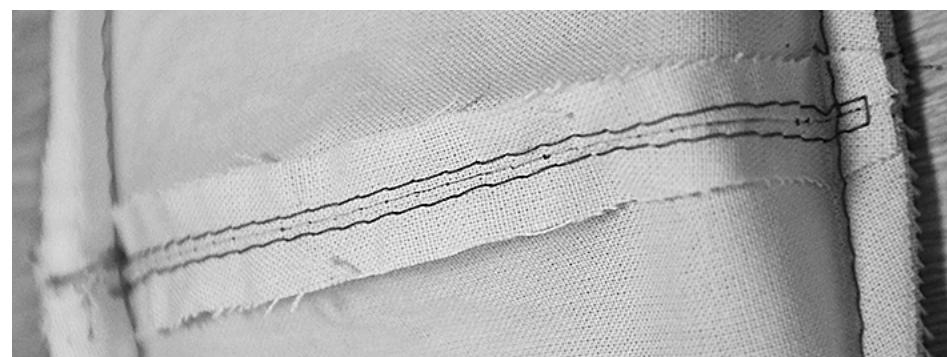
マスクの内側に 6×10 センチのガーゼ、手ぬぐいなどを挟んでおくと口紅も付かず便利です

ラブ・クロス主宰
杉田正子さん

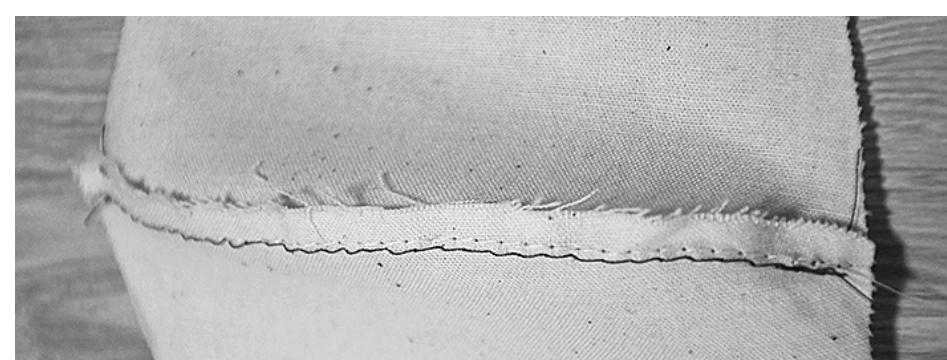
本紙の13日付紙面に掲載した布を愛する会ラブ・クロス主宰の杉田正子さんによる手作りマスクの記事に、多くの読者から問い合わせなどが寄せられました。そのため杉田さんから作り方の詳細を教わり、あらためて紹介します。手作りマスクは古布や手ぬぐいなど身近な素材を使用し、服装に合わせて選ぶことができるのが魅力です。素材は表布に綿、裏布にガーゼや手ぬぐいなどがお勧めです。綿は洗濯後に縮まないよう、あらかじめ水を通して乾かす「地直し」を行います。また、マスクと口元の間に縦6センチ、横10センチのガーゼなどを挟むと、口紅などで汚れずに便利です。

コーディネートも楽しく

身近な素材で手作りマスク



① 型紙に沿って裁断した表布、裏布各2枚を中表（裏面を表に返す）にしてそれぞれ縫い合わせる（上が表布、下が裏布）

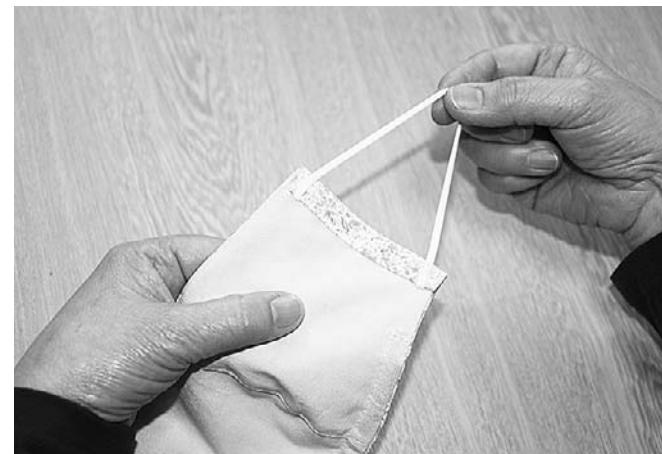


② ①を表に返し、それぞれ中心にステッチをかける。裏側はワイヤが通りやすいように片側に倒す（写真上が普通のステッチ、下が片側のステッチ）

- ・表、裏の布各2枚（型紙に沿って裁断したもの。表の布は5センチほど大きいと仕上がりがきれいになる）
- ・不用になったマスクのゴムひも2本（洗って消毒したものの）
- ・不用になったマスクのノーズワイヤ（ゴムひもと同様。園芸用のビニールタイも可）
- ・針と糸



完成したマスク



④ ③を表に返し、左右の端を二つ折りにしてゴムひもを挟んで縫う。普通のゴムひもの場合は、ステッチを広めにかけてその間にゴムひもを通す



⑤ ②を重ね、中表にして上下を縫う。表に返してから、ワイヤを入れるスペース（鼻側の端から1センチほど）を縫い、ワイヤを入れてからとじる（写真）

材料